

新しい年がよい年でありますように

# 初詣



**初詣** 初詣の起源には、二つの説がある。一つは、神道の「年籠り」が初詣になったという説。「年籠り」は各家庭の家長が、大晦日から元旦にかけて、その土地の氏神をまつた神社にこもり農作や家内安全を祈願する行事だったが、やがて大晦日の夜の「除夜詣」と元旦の「元日詣」に分かれ、元日詣が初詣の原型になったといわれている。

もう一つは、お正月に各家庭の神棚や鏡餅などのお供えによって招く歳神に由来する説で、その年の福をつかさどる歳神を迎えたのち、歳神の方角(恵方)にある神社・寺院にお参りする「恵方参り」が原型になったという。

明治時代初期までは、神道と仏教が一体化した神仏習合による信仰が一般的だったが、初詣も神道・仏教の区別のないまま定着したが、神社・寺院、どちらに参詣しても問題ない。参詣する先を「ご利益」で選んでも良い。

初詣では、神社へ参拝し、お守り、破魔矢などを授けたり、絵馬に願い事や目標を書いて、今年一年がよい年であるように祈る。このとき、昨年のお守りや破魔矢を神社に納めたりもあてがう。

初詣は一般的に「松の内」の一月七日までに行くのがよいとされているが、十五日まででもよいとされる地方もあり、特に決められた期間はないようだ。



## 武田神社

(甲府市)

郷士の雄・武田信玄公を祭神として、武田三代(信虎、信玄、勝頼)の館跡、躰躰ヶ崎の館跡に創建され、平成三十一年に御鎮座百年。同館は、信虎公が永正十六年に建立し、これが甲府市の始まりとして、甲府開府五百年となり、また、令和三年には御祭神信玄公生誕五百年を迎えた。境内など周辺は、戦国時代当時の面影を残し、国の史跡である。年間を通して、信玄公にあやかり家内安全、商売繁盛、学業成就などを願う参拝客が多い。

## 山梨縣護國神社

(甲府市)

甲府市岩窪町に鎮座。ご祭神は西南の役から大東亜戦争に至るまでの国のために命を捧げられた山梨県出身の英霊二万五千六百三十三柱。

明治十二年、甲府市太田町に招魂社として建立され、昭和十九年、現在地に護國神社と名称を改

## 定額山善光寺

(甲府市)

板垣山を背にし、大きな朱色の山門と金堂が目印の善光寺。今から四百年あまり前に、武田信玄が信濃善光寺大本願三十七代鏡空上人を開山に迎えて創建した。本尊の金銅阿彌陀三尊像(中尊像高一四七・二センチ)は、もと信州善光寺の前立仏で鎌倉初期の建久六(一一九五)年の造像で、重要文化財である。

甲府成田山は明治二十二年、千葉県にある大本山成田山新勝寺の本尊不動明王の分身を祭った。真言密教。JR甲府駅近く、愛宕町の山梨英和中学に隣接した石段を上ると境内がある。

新春の「特別大護摩祈禱」は元日から一月七日まで行われ、参列者は一年の無病息災、厄除けのお祓いを受けられる。

翌八日から四月二十八日までのお祓いは「百日百座護摩祈禱」。住職が毎朝六時から護摩修行し、諸願成就を祈禱する。境内にはお百度石もある。

元日から5日までは、混雑が予想されます。3が日や松の内(7日)などにこだわらず、ご参拝ください。

◎元日から3日までは、交通規制がございます。詳しくはHPをご覧ください。  
◎矢・熊手・土鈴などの縁起物は、12月より授与を始めております。  
◎初詣等に関する最新の情報は、HP・X(旧Twitter)・facebookなどをご覧ください。

HP X(旧Twitter) facebook

甲斐國 武田神社 甲府市古府中町2611 055-252-2609

6・7面につづく

**祈りの火**

**護摩祈禱**

家内安全 商売繁盛 厄除け 合格成就 交通安全 身体健全 諸願成就をご祈念します

大本山成田山不動明王のご分身をおまつりする

**甲府成田山**

055-252-2631 090-1451-6722

**初詣**

**善光寺**

初詣鳴竜たたいて幸せに 正月三が日は鳴竜無料拝観いただけます。

甲府市善光寺3-36-1 055-233-7570

中央線甲府駅より車で10分 中央線酒折駅より徒歩15分 身延線善光寺駅より徒歩7分

**山梨縣護國神社**

甲府市岩窪町六〇八

1月1日~3日 ●酒造会社奉納の樽酒・甘酒、露店の出店

1月1日 ●書道パフォーマンス 書道家・土肥玲奈……11時 ●書の奉納 書道家・武田早紀……14時

1月2日 ●陸上自衛隊車両の展示 ●限定御守り、御朱印 ※書置きのため、枚数に限りがあります。 ●書道家・武田早紀デザイン『ねこぶで』猫雑貨の販売 ※売り上げの一部が猫の保護団体に寄付されます。

